

EMアイフードスタイル支部 第11期 (2024・2025年度) 運動方針 (案)

目指す姿

- 【安心安全な働きやすい職場環境】 メンバー同士がお互いを知り、認め尊重し合う。生産性高く働き、休みはしっかり休む。
- 【活き活きと働きがいのある会社】 メンバーが仕事に誇りを持ち、成長・活躍を実感できる。

第11期運動方針

【働きやすさ】【働きがい】の向上に全メンバーで取り組む！
 そのために自らが『知る』『つながる』ために行動し、最後までやりきることを目指します。

方針の考え方

メンバーとの対話で最も聞かれる声が「働きやすさ」「働きがい」の課題です。改善のために必要な行動を話し合うなかで、出てきたキーワードが「知る」、「つながる」でした。働きやすく働きがいのある職場の実現にはメンバー一人ひとりの行動が必要です。実現に向けてみんなでやり切りましょう。

メンバーの幸せと会社の成長発展



目指す姿

- ▶IMGU の理念でもあるメンバーの幸せの土台に【働きやすさ】【働きがい】があり、向上にむけては上記 4 つの要素の実現が必要です。
- ▶自分と仲間を大切に一人ひとりを尊重し、また「生産性高く働き、休みときはしっかり休む」メリハリある働き方を実現することは、現在の課題解決だけでなく、離職防止や採用の強化など、未来の働きやすさにも繋がります。賃金や労働時間などの労働条件を向上させつつ、自身の成長や活躍を感じられるような制度と風土を整えることで、働きがいの実現に繋がります。

ありたい状態・行動指針



Eムアイフードスタイル支部 第11期（2024・2025年度）運動方針（案）

【 取り巻く環境 】

- ・ コロナウイルス5類感染症移行後の購買行動の変化に加え、2022年から引き続き円安や原材料・エネルギーコスト等の価格高騰の影響を受け、2023年度は黒字ではあるものの営業利益予算比74.8%、2期続けての全社予算未達となった。
- ・ 最低賃金の上昇や、人手不足の深刻化、それらに伴った採用賃金の上昇傾向などが進み、今後もこれらの傾向が続くことが予想される。そのため、人事賃金制度においても先を見据えながら対応する必要がある。

【 重点取り組み（具体的な活動） 】

労働福祉活動
<ul style="list-style-type: none"> ・ 労働福祉ビジョンの達成にむけて、5年後に目指す目標を見据えながら、メンバーと中期イメージを共有しつつ労働条件の向上に取り組む。 ・ 人事賃金制度においては要員ポートフォリオをもとに、採用や人材育成、生産性の向上の視点をもった制度改定に取り組む。また、制度の正しい認識や運用の定着を進め、人事制度上の課題を解決しつつ、処遇や働きがいの向上に繋げる。 ・ 働きやすさの向上にむけて、生産性向上・総実労働時間の短縮、個性や働き方を互いに認め合う風土改革を進める。 ・ 総実労働時間の削減においては、メリハリある働き方・ワークライフバランスの向上に繋げる為に、労働福祉ビジョンを見据えた計画的な連休の取得を労使で進める。 ・ 労使でも連携しながら、職場での実効性ある業務改善を推進する。そのためにも、引き続き兼任役員も含めた教育機会を設けながら、業務改善案の起案を執行部全体で行う。 ・ ハラスメント撲滅においては、正しい知識のアップデートに加え、相談のしやすい環境や見過ごさない風土づくりに取り組む。現在行っている挨拶・さん付け・丁寧語運動の徹底のために、会社への提言と、より実践に繋がるコミュニケーションスキル研修等を行う。
経営対策活動
<ul style="list-style-type: none"> ・ 業績を含めた経営懇話会報告を行っているユニオンメッセージにおいて、雇用区分問わず興味・関心を持ってもらえるよう、見てもらう窓口を広げるためにもメンバーにより身近な立場である兼任役員を登場させ認知度アップを図る。 ・ 会社方針などについて、メンバーの理解浸透に向け機関会議にて経営の方との直接対話会を実施する。 ・ チェック機能を高めるために、執行部では財務諸表分析について機関会議で勉強会を行い基礎的な知識の向上を図る。またグループ各社や同業他社との比較分析も行いながら、労使協議、労働条件の向上に繋げる。
組織運営
<ul style="list-style-type: none"> ・ メンバーの活動への参画向上に向け、まずは活動の主役を兼任役員とし、起案から実施・フィードバックまで連携を図っていく。 ・ 各職場内での改善サイクルを重視。専従・執行委員・評議員・職場委員でそれぞれの役割分担を明確にし、メンバーの声を聴ける体制を強化しながら、課題解決視点を役員（とメンバー）は持って、その職場を良くするためのアクションを行う。

【 第11期前半年度（2024年度）支部活動費予算について 】

予 算	前期実績	前期比
3,354,000円	2,138,837円	156.8%
<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報は引き続き強化し、所属毎の掲示板・ラック整備。一方で議案書ペーパーレスを進め、印刷予算は年1回に削減。 ・ 働く環境整備のための兼任役員含めたセミナー派遣は、効果性をより図りつつ年間2回計画し、起案力向上につなげる。 ・ 職場親睦会補助は前年比1.5倍の参加率を目指し、各所属での開催のハードルを下げるサポートを行う。 ・ 任意参加セミナーは、食などメンバーニーズの高い分野で年2回実施し、活動への参画と自主的な学びに繋げる。 		